

学校教育目標

志を持ち、心豊かでたくましく、よく学び考える 妹背牛の子



もせうし小だより



3年生の作品
しゃぼん玉とんだ～

妹背牛町立妹背牛小学校 学校だより 令和7年6月25日 発行No.4
発行：戸澤 法史 文責：穂山 拡希



運動会を終えて

校長 戸澤法史

週間予報では、雨マークがついたり消えたり、前日は1時間ごとに予報が変化したりと開催を心配していた運動会ですが、何とか実施することができました。これも、保護者・地域の皆様方のご理解とご協力のおかげと心より感謝申し上げます。ありがとうございました。ただ、最後の全校リズムが降雨のため途中で終わり、閉会式もきっちり終えることができなかったのは心残りでした。来年は、ピカピカの晴天を期待したいところです。

さて、当日の子どもたちは、全校児童68名の一人ひとりがこれまでの努力と練習の成果を力いっぱい出しきって笑顔で元気はつらつと躍動し、それぞれの学年に相応しい立派な成長の姿を見せてくれました。応援合戦では、6年生の応援団長のもと、曇り空を吹き飛ばすように全員が大きな声で取り組むことができた。徒競走では、風にも負けず一生懸命に走り、ゴールしたときの子どもたちの表情が印象的でした。また、リレー種



目や団体種目では、子どもたち全員が協力し合って応援したり、ひたむきに競い合ったりする姿が強く印象に残り、心から感動しました。運動会のテーマ「最後まで全力でがんばろう！」のとおり、全力を出してくれた運動会でした。

今回の運動会を見ていると、当日の競技はもちろんのこと、運動会の各係での動き、他学年を応援する姿、運動が苦手な子が少しでも上達するように頑張る姿、うまくいかなくてもへこたれず何度もやり直す姿等、私が年度当初に子どもたちへ出した「トライ&エラー」が着実に身についてきていると感じました。さらに、最後の運動会となった6年生においては、全力で種目に臨む姿や、責任を持って仕事をする姿が、5年生以下の子どもたちの良いお手本となり、伝統として来年度以降も引き継がれるものと思います。



これからも、保護者・地域の皆様方と子どもたちのために力を合わせ、安心安全の取組や豊かな心を育てる教育、学力・体力の向上等、さらに教育活動を充実させていきたいと考えております。今後とも皆様のご理解・ご支援をよろしくお願い致します。

全校で新体カテストを実施～縦割り班で仲良く活動できました



6月11日(水)全校で実施しました。実施した種目は、「反復横跳び」「立ち幅跳び」「長座体前屈」「上体起こし」の4種目です。(他に「握力」「20mシャトルラン」「ソフトボール投げ」「50m走」がありますが、学年毎に体育の時間に実施します。)

全校縦割り班でチームを作り、担当の先生から各種目の説明を受けた後実技を行います。チーム内でお互いに身体を支えたり、回数を数え合ったりしながら、去年の自分の記録を超えるよう真剣に取り組むことができました。



税金の意味や使われ方について学ぼう～租税教室



6月12日(木)、深川税務署の方にご来校いただき、6年生を対象に租税教室を行いました。町内の施設も税金を活用して建設・運営されているものも多く、身近な生活と税金の関わりについて理解を深めました。最後は1億円(を模した偽物)を持ち上げ、重さを体感することもできました。6年生にとっては、貴重な経験となったようです。

自分の身を守るために～避難訓練(不審者対応)

6月16日(月)、避難訓練がありました。学校に不審者が入ったという想定での訓練です。不審者役の警察官が大声を出し校内を徘徊する中、全員が声を出さずに教室内で身を隠し、その後の講評でお褒めの言葉をいただきました。その後、体育館にて実際に不審者に声をかけられたときの対応について学びました。大切なことは、「いかのおすし」を意識して、すぐに逃げることに、大声で助けを求めることです。低・中・高学年それぞれの代表は、警察官の方の説明を思いだし、しっかりと避難することができました。



遠足に行ってきました

1・2年 深川広里ふれあいパーク



6月20日(金)遠足を実施しました。当日は熱中症の対策として、スクールバスを利用した帰校を取り入れました。帰校・下校時刻が早まり保護者の皆様にはご心配をおかけしました。ラクメにて下校方法もうかがいましたが、ご多忙の中迅速なご対応・ご回答をいただき誠にありがとうございました。

3・4年 深川総合体育館恐竜公園



目的地に到着した後は、それまでの徒歩の疲れも吹き飛んだのか、敷地内を駆け回りながら、力いっぱい遊ぶ姿を見せてくれました。晴天のもと、友達と一緒に食べるお弁当やおやつは、格別のおいしさだったのではないのでしょうか。

5・6年 秩父別ファミリースポーツセンター



予定外のバス帰校がある中、一日を通して大きな怪我をすることもなく遠足を満喫した子ども達。きっと一人ひとりにとってよい思い出になったことと思います。

家庭学習強調週間がありました

6月12日(木)～18日(水)は、今年度最初の家庭学習強調週間がありました。実施にあたって、PTAからも呼びかけプリントも配布され、学校とご家庭が一緒になり取組を進めました。

子ども自ら目標シートに家庭学習の内容や目標時間(学年×10分+10分)、「テレビ・ゲーム等の視聴時間」を設定し、計画的に家庭学習を進めるとともに、期間終了後に振り返りを行いました。

目標時間を達成できたと回答した割合…75.0%

昨年度最後の強調週間と比べ、回答割合は増えています。(初回は、強調週間を始めたばかりの1年生の結果を除外しています。)第2回・第3回の夏休み・冬休み終了後も、自分で立てた学習計画にのっとり、自主的に家庭学習に取り組んでほしいものです。

メディアと接する目標の平均時間…84.4分

昨年度最後(1月)と比べて平均時間は減少しています。「自分で立てた目標を守れたか?」という問いにも、70.9%の子が「守れた」と回答してくれました。今回の目標時間を意識して、メディア時間の縮小、並びにその間の時間の有効活用につなぐよう、次回の家庭学習強調週間で挑戦してほしいです。

期間中は、保護者の方よりアドバイスや励ましの声かけをいただいたという声も聞こえてきます。お忙しい中、お力添えをいただき誠にありがとうございました。子ども達が達成感を実感できるよう、今後もお子さんへの声かけ・働きかけをお願い致します。

第1回いやなことアンケートの結果をお知らせします

学校は、「いじめがどの子にもどの場面でも起こり得る」という危機意識をもち、全職員で全校児童を見守り、組織的に対応していかなければなりません。本校では、例年、いじめの早期発見・未然防止のため、日常的な見守りや指導を行い教職員間で情報を共有するほか、全校児童を対象に「いやなことアンケート」調査を行っています。今年度より例年2回のアンケート実施が3回に増えました。早速6月初めに全学級で第1回アンケートを行い、いじめの予兆がないかを調査しました。以下、結果についてお知らせします。
※アンケートは実施においては端末を用いた回答とし、個人の回答が特定されない措置を講じています。

1. あなたは、ことしの4月から今日まで、嫌な思いをしたことがありますか。

ある … 21% ない … 79%

2. どんなことをされましたか。すべてに○を付けてください。

冷やかしゃからかい、悪口をいわれる	10.6%
仲間はずれや無視をされる	5.9%
軽くぶつかられたり、遊ぶふりをしてたたかれたりする	4.4%
ひどくぶつかられたり、たたかれたり、蹴られたりする	4.4%
お金や持ち物をかくされたり、いたずらされたりする	1.5%
恥ずかしいことや危険なことをされたり、させられたりする	1.5%
メールやSNS等で悪口を書かれたり、仲間はずれにされたりする	0%
その他（きつい言い方をされた、ちょっかいをかけられる等）	1.5%

「ない」と答え
た子は、4番に
進みます。

3. あなたは、今も嫌な思いをしていますか。

している … 10.3%（その後の指導・調査で現在は解決済み） していない … 10.3%

4. あなたは嫌な思いをした時、誰に相談しますか。（複数回答あり）

先生	69%	家族	67.6%	だれにもそうだんしない	5.9%
スクールカウンセラー	10.3%	電話相談	11.8%	その他	0%
友だち	48.5%	メールやSNSの相談窓口	5.9%		

5. あなたは、友人が嫌な思いをしているのを見たり、聞いたりしたことがありますか。

ある … 7.8% ない … 91.2% 無回答 … 1.5%

6. 学校から「子ども相談支援センター電話相談紹介カード」が配られていますか、そのカードを知っていますか。 知っている … 100% 知らない … 0%

7. あなたは、苦しんだり、悩んだりして心が傷つく「いじめ」はどんな理由があっても許されないことだと思いますか。 そう思う … 92.0% そう思わない … 3.2% よくわからない … 4.8%

8. あなたは、学校の「学校いじめ防止基本方針」の内容を知っていますか。

知っている … 97.1% 知らない … 2.9%

アンケート実施後、「教育相談」の期間を設けました。これは、学級担任が一人ひとりの児童と面談し、アンケート調査を含めた、日常の学校生活の悩み 困りごと 不安等がないかを尋ねたり、相談や助言をしたりする取組です。その後、いじめ対策委員会において、教育相談の内容を受けた一人ひとりの状況に応じて対策を協議しました。現在、深刻かつ重大な事態につながるいじめは見つかっていませんが、そうなる前にいじめの内容を正しく把握・対処すること、また、いじめの見逃しを0にすることを目指し、全ての教職員で一人ひとりに寄り添った指導・支援に努めてまいります。本校のいじめに対する詳しい取組については、過日お知らせした「いじめ防止対策推進法に基づく本校の取組について」「妹背牛小学校いじめ防止基本方針」も合わせてご確認ください。（どちらも妹背牛小学校ホームページに掲載しています。）

ご家庭におかれましても、お子さんの様子で気になることがございましたら学校までお知らせください。

